

## 東加積地区の主な提言等と回答要旨（H28春に開催の「市長と語る会」で）

提言等の項目	H28に開催の「市長と語る会」	
	皆さまからいただいた主な提言等	その際の回答要旨
①海上クルージング	海上クルージングは具体的に、どこを、どれくらい時間をかけて行うのか。 また、乗船料等は。	観光船「キラリン」での海上クルージングは、4月29日から、1日4便、乗船料は一人1,800円で予定としております。 コース及び時間は、早月川と上市川に向かう2つのコースで30～40分を想定しているところです。
②児童館	児童館ができ、うれしく思うが、高齢者が児童館を利用しても良いのか。 例えば、これまで小学校や公民館で小学校高学年を対象にラジオ作りを行っているが、今後は実施箇所を児童館として行いたいと思っている。 こういったことにも児童館は使用できるのか。	新しい児童館では、0歳から18歳までのお子さん及び、その保護者を対象としていますが、祖父母の皆さんもお孫さんと一緒にぜひお越しください。 館内での行事、活動については、今後、皆さんのご意見を聞きながら利用者の交流を考えたいと思います。
③ほたる川の桜等	ほたる川の桜の木について、澤田市長の時代に100本ほど植えて現在、見事に咲いているが、まだ数が足りないので毎年2～30本賞えないか。 また、お手洗いが無いので、特に女性は困っている。	ほたる川（大崎野砂防公園）の桜については、「21世紀桜のまち推進事業」で対応できるので、地元の要望があれば、苗や肥料等一式を市から支給しますが、地元の方のご協力もいただきたいので、地元の行事の一つとし、申請いただきたいと思います。 お手洗いについては、桜がすばらしいとの事なので、現地を確認して検討します。
④護岸工事	ほたる川の上流部、県の砂防事業になると思うが、降雨等で荒れているので、護岸整備をしていただけないか。 県では上流部の整備は行わないと聞いている。 また、雑木の伐採等について、国の多面的機能支払制度に該当しないか。	上流部の護岸について、まず現地を見させていただき、関係部署と調整します。 雑木の伐採等については、具体的な場所を聞かせていただき、国の事業に該当するか、確認します。
⑤行田公園	町部の方と行田公園の竹の伐採、ゴミの片付けをしたり、子ども達とも植林を行い、公園を整備しているが、清水の箇所において、蚊が大量に発生している。 これで人が来るのか、市でできないならボランティアを集めたら良いのではと以前から指摘している。 児童館も隣接しており、人が来てこそその公園である。もっと整備すべきでは。	行田公園の環境については、サギの住処になったり、隣接地の竹が侵入し、繁茂した箇所もあり、森づくりクラブ、有志の皆さんに伐採等のご協力をいただきました。 整備については、上記の皆さんや、野鳥クラブ、自然環境を守る会等の方々とお話をする中で、ゾーニングを行い、自然のままの部分、子どもたちの教育の部分、観光としての菖蒲園の部分と、3つのゾーンに分けるとする考えのもと、今後は整備を行っていきたく考えています。
⑥手話	熊本・大分で大きな地震が起きたところだが、滑川市で災害が発生し、避難所等に集まったとき、市は聴覚等の障害がある人の相談に乗ることができるのか。	現在、市では、社会福祉協議会において、手話講師養成講座を実施しております。 また、めばえの会にお願いし、各種大会等で手話通訳を行っていただいております。 災害時においても、障害を持つ方の避難生活が円滑に行われるよう、これらの方々にご協力いただきたいと思います。 一般市民の方においても、手話に親しんでいただきたいと思いますと考えておりますので、今後とも、手話普及に努めていきます。
⑦子育て支援	市内には、離婚し、女手ひとつで子どもを育てている家庭がたくさんある。 そういった家庭が子どもを預ける場所が無く困っていると聞く。 また、そういった低所得の子育て世帯に子ども第一主義が行き届いていないと感じる。	離婚されたご家庭も、実家にお子さんを預けて頑張っている方もいらっしゃいます。 また、例えば奨学金等について、母子、寡婦等の懇談会で、手を挙げにくいのかもれず、困っているという声は聞いておりませんが、もし困っている方がいらっしゃれば応援しますので、今後はより注視していきたく思います。

## 東加積地区の主な提言等と回答要旨（H28春に開催の「市長と語る会」で）

提言等の項目	H28に開催の「市長と語る会」	
	皆さまからいただいた主な提言等	その際の回答要旨
⑧ 薪業	以前、薪業をしていたが、需要が少なく、今は10人足らずが行っている程度である。 新しいなり手の育成ということで、個人的に金沢から先生を呼んでいるが、今後は公民館活動として、定期的に行っていきたいと考えているので、応援いただけないか。	公民館活動としてできるよう進めていきたいと思っておりますので、またお話を聞かせてください。
⑨ 小学校	東加積小学校は何人まで児童の減少を許容できるのか、基準があれば教えてほしい。 東加積の一番の課題である小学校だけは残してほしいので、現在の校区の外から、子どもを引っ張ってこれないか。 また、町内会長等が集まって話し合う機会が必要なので、できることからやっていきたい。	文部科学省では、1学級以下になる小学校は、統合も含め、学校のあり方、特色ある小規模学級について検討するようにとされています。 ただし、市では東加積小学校も含め全ての小中学校において耐震化やエアコンの設置を行っており、すぐに統合ということは考えていません。 また、通学区については、10年ごとに検討しているところであり、まずは今の校区の中で考えていきたいと考えています。 全国では、山村留学や小中連携で成功を収めている事例もありますが、まずは地域の方と学校が一体となって、教員に過度の負担が掛からないよう、より魅力ある学校づくりをしていただきたいと思います。
⑩ 小学校教育	子どもたちの人間形成の元となる小学校教育に力を入れてほしい。	小学校教育については、アクティブラーニングに力を入れています。 また、ICTを活用した教員を置かない授業や、中学校での、生徒会活動等、生徒が主体となり取り組んでいる事例もありますので、それらも参考にしつつ、子どもたちが自ら学び、調べるという教育に努力しているところです。
⑪ 語る会	他の地区では何人ぐらい出席しているのか。 東加積は参加者が少ないので、地区としても多くの住民に出席してもらうよう努力しないとイケない。	地区によって出席者数は異なりますが、東加積は少ないほうです。 できるだけ多くの方に参加していただきたいので市もがんばりますが、地区としても声掛けをお願いします。